

プラビン・バグワントラオ・ダット（インド）



アジア防災センター（ADRC）客員研究員のプラビン・バグワントラオ・ダット（Mr.Pravin Bhagwantrao Dhat）と申します。インド内務省の組織である国家災害対応部隊（NDRF）の司令官補佐として働いています。私は農学部を卒業し、災害管理の修士課程を修了しています。

インドの国家災害対応部隊（NDRF）は、世界最大の災害対応専門部隊で、災害時の専門的な対応を担当するほか、災害管理訓練の提供や、国内のさまざまな能力開発・災害リスク軽減活動の実施も行っています。私は2020年6月に中央警察予備隊から出向でNDRFに入隊し、マハラシュトラ州ブネにあるNDRFの第5大隊に配属されています。私はNDRFの中隊の総監督と管理を担当しています。また、マハラシュトラ州とゴア州で、さまざまな作戦、訓練、能力強化活動にも携わっています。私は、医療緊急対応、倒壊建造物の捜索・救助、水難対応、消防、動物災害対応、死体管理などさまざまな分野の訓練を受けた有資格の救助隊員で、山岳捜索・救助、化学生物学・放射線学・核緊急対応の専門訓練を受けています。さらに、戦略的マネジメント、INSARAG、災害管理におけるジェンダー問題などをテーマにしたコースも受講しています。

インドはアジアの南部に位置し、パキスタン、アフガニスタン、中国、ネパール、ブータン、バングラデシュ、ミャンマーと国境を接しています。そのユニークな地理的気候条件と社会経済的条件から、インドは程度の差こそあれ、多くの自然災害や人為的な災害に見舞われてきました。洪水、干ばつ、サイクロン、地震、地すべり、雪崩、森林火災などに対して非常に脆弱です。また、地球温暖化や気候変動により、水文気象災害の発生や強度が増しています。また、事故のような人為的な災害も増加の一途をたどっています。そのため、インドでは災害リスクの軽減と災害管理への関心が高まってきています。

日本はその地理的、地形的、気象的条件から、台風、集中豪雨、豪雪、地震、火山、津波などの自然災害に頻りに直面しています。日本では、防災体制の整備、国土保全の推進、気象予測技術の向上、災害情報通信システムの整備など、社会の災害対応力を向上させ、脆弱性を軽減してきたことにより、災害による被害は減少傾向にあります。したがって、日本から学ぶべきことは非常に多いと思います。

日本滞在中は、日本の災害管理システム、特に様々なレベルでの対応について見識を深めたいと考えています。このプログラムを通じて得た知識やスキルは、インドの関連分野で生かすことができると確信しています。

2022年度の客員研究員プログラムに参加する機会を与えてくださったアジア防災センターとインド政府に、心から感謝いたします。